

福井商工会議所の動き

FCCI NEWS

9月度議員懇談会

新卒学生の就職動向について懇談



9月度議員懇談会を9月1日午前11時から福井商工会議所ビルで開催し80名が出席した。

開会にあたり八木会頭は、岸田首相が今後のエネルギー政策の転換とも言える原子力発電所のリプレースや次世代炉開発の検討を示したことについて触れ、本県経済界が提言する原子力リサイクルビジネスや水素発電の実証事業に加えて、福井県がトップランナーとなる期待感を述べた。

また、北陸新幹線の大阪延伸にかかる予算の着実な確保に向けて、県や市町と北陸・関西の経済界が一丸となって機運の醸成に取り組むことが重要と述べ、議員の協力を求めた。

一方、これまで6回にわたり開催されてきた県都にぎわい創生協議会に関して、これまでの議論を振り返り、県



議員懇談会であいさつする八木会頭

都のグランドデザインやアリーナ基本構想案、新幹線開業プロジェクトが取りまとめられ、意見集約が進んだ成果を強調。多くの人が混ざり合い、交流することでもちの賑わいが生まれるとの考えを示し、グランドデザインを道標として、各種事業のプレーヤーとして取り組む意欲を示した。

最後に、先に開催された常議員会で、議員選挙に伴う3号議員選任並びに2号議員の割合割当数が承認されたことを報告。八木会頭はこれからの3年間を変革期と捉え、商工会議所の役割・プレゼンスを持続的に発揮するため、次の百年に向けての第一歩となる組織体制を作っていくと述べた。

続いて懇談に移り、(株)マイナビの中部営業推進本部長を務める小林和喜氏が「変化する新卒市場にどう対応するか」をテーマに講演が行われた。

小林氏は学生の就職先選びに関するデータを示し、近年は中堅・中小企業への就職志向が大企業と拮抗するレベルにまで高まっている一方で、実際には大学生の就職活動が大企業を中心に進められている実態を説明。就職活動に臨む学生に対して、自社の特徴や優れているポイントを、具体的な数字や取り組み内容を交えて、いかに分かり

やすく伝えられるかが大きなポイントになると解説した。



学生の就職動向について解説する小林氏

3号議員 選任企業 (15社)

- (株)福井銀行
- (株)福井新聞社
- 福井テレビジョン放送(株)
- 福井放送(株)
- (株)北陸銀行福井地区事業部
- サカイオーベックス(株)
- セーレン(株)
- 清川メッキ工業(株)
- 日華化学(株)
- フクビ化学工業(株)
- (株)熊谷組北陸支店
- 北陸電力(株)福井支店
- 三谷商事(株)
- 三谷セキサン(株)
- (株)そごう・西武 西武福井店

事業開催結果

8.23 県都にぎわい創生協議会 担当/まちづくり・産業振興課



県都グランドデザイン概要案が示された他、アリーナ基本構想案やまちなか再生ファンドの進捗、新たなエリアマネジメント組織の設置方針、新幹線福井開業に向けた取り組みについて意見交換がなされた。約2年にわたり進めてきた本協議会は今回をもって一旦の区切りとした。

会場/福井市にぎわい交流施設 3階
ハピリンホール

8.4 国際ビジネス委員会 担当/地域事業・観光振興課



台北駐大阪経済文化弁事処の向明德処長を講師に招き、「台湾の最新事業と対日関係について」と題して講演いただいた。委員との意見交換では、緊張高まる中国との関係や半導体産業の今後の展望、日本の地方との交流促進について活発に意見が交わされた。

出席者/22名
会場/福井商工会議所ビル 特別会議室

8.26 第45回 新商品・新サービス 合同プレス発表会 担当/会員サービス課



新たな商品・サービスを開発した事業所による合同プレス発表会を開催。メディア関係者に対してプレゼンテーションを実施。その後、展示ブースで記者との交流会を行い、取材に応えながら、新商品・サービスの独自性や新規性について存分にPRを行った。

発表企業/4社
会場/福井商工会議所ビル コンベンションホール

8.9 情報イノベーション 委員会 担当/まちづくり・産業振興課



産業技術総合研究所の栗本理事を招き、産総研の重点事業や福井の主要産業に関する取り組み、来夏坂井市内に新設される北陸初の研究拠点について紹介いただいた。その後、当所のデジタル化支援に関するセミナー等の実施状況を報告し、今後の展開について意見交換した。

受講者/22名
会場/福井商工会議所ビル 地下コンベンションホール